

11. 附属看護キャリア支援センター

11.1 看護キャリア支援センター運営委員会

委員長：林 一美 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：石垣教授（学長）、川島教授（研究科長）、武山教授（学長補佐）、石川准教授、西田事務局長、浅見特任准教授

事務局：寺井囑託

活動内容：

1. 今年度の活動

1) 今年度の事業計画

事業内容 ①3期目の認知症看護認定看護師教育課程

②県委託事業

看護教員研修事業

看護管理経営研修

専門的看護実践力研修事業

③認知症看護認定看護師フォローアップ 研修

④感染管理認定看護師フォローアップ 研修

2) 2020年 感染管理認定看護師教育課程開講に向けての広報活動

3) 北陸3県の医療・福祉関係機関の看護部責任者に対し、認定看護師教育課程の受講ニーズ調査を実施し、次期開講教育課程の方向性を検討する。

4) 令和元年度の事業報告書のホームページ掲載

2. 今年度の活動に対する評価

認知症看護認定看護師教育課程の実施をした。さらに3つの県委託事業を実施した。教育課程・県委託事業については、事業実施計画のと通りの運営が行えた。次年度の感染管理認定看護師教育課程の入学確保のために、北陸3県医療・福祉関係機関の看護部責任者に対し、受講ニーズ調査をおこなった。また、夏期と冬期に2回の入試説明会と石川県・富山県の医療機関看護部に対し訪問広報活動をおこない、定員以上の入試受験生の確保ができた。感染管理認定看護師教育課程は、2年の開講を予定している。2019年度にて認知症看護認定看護師教育課程は閉講予定である。

さらに次期の認定看護管理者教育課程（サードレベル）に向けて、北陸3県の医療・福祉関係機関の看護部責任者に対し、受講ニーズ調査を実施し、その結果から2020年は看護管理者教育課程（サードレベル）を開講する予定となった。

3. 次年度以降に向けた課題・発展

1) 次年度は感染管理認定看護師教育課程と認定看護管理者教育課程（サードレベル）を開講し、教育体制の構築、質の高い教育の実施・運営、次々年度入学試験の実施等を、関係機関の協力を得て行う必要がある。

2) 次年度はセンター教職員が新任となるため、センター事業に関する教務・入試事務等に

関して、新任教職員で対応しなければならなくなるため、確実な業務運営が求められる。

11.2 認知症看護認定看護師教育課程

11.2.1 受講生の受講・修了状況

	定員	入学者数	修了者数
平成29年度	30	33	33
平成30年度	30	31	31
平成31年度 (令和元年)	30	29	29

11.2.2 入学試験・入試説明会の実施

1) 入学試験の実施

平成29年5月13日（土）（平成29年度入学生）

平成30年3月 3日（土）（平成30年度入学生）

平成31年3月 2日（土）（平成31年度入学生）

	定員	応募数	合格者数
平成29年度入学生	30	86	33
平成30年度入学生	30	49	30
平成31年度入学生 (令和元年)	30	33	29

11.2.3 認知症看護認定看護師教育課程入試委員会

今年度（平成31年度:令和元年度）で閉講のため開催しなかった

11.2.4 認知症看護認定看護師教育課程教員会

委員長：林 一美 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島教授（学長補佐）、多幡講師、堅田助教

小藤幹恵（石川県看護協会）、山下美子（石川県立高松病院）、冨澤ゆかり（金沢赤十字病院）、林浩靖（光が丘病院）

事務局：寺井囑託

活動内容：1. 教育課程の内容、教育環境整備に関する検討

2. 受講生の修了判定

11.3 石川県委託事業の開催

11.3.1 石川県看護教員現任研修事業

- 1) 目的：これからの時代を見据えた柔軟なカリキュラムの開発を考える。
- 2) 開催時期：令和元年10月5日、12月14日、令和2年2月8日
- 3) 受講生：令和元年10月5日40名、12月14日125名、令和2年2月8日24名
- 4) 内容：(1)10月5日（講演）未来をみすえたカリキュラムの開発方法－開発の考え方とそのプロセス－
(2)12月14日（講演）これからの時代を見据えた柔軟なカリキュラムの開発－第5次指定規則改正内容とその意図－
(3)令和2年2月8日（講義・演習）カリキュラム開発の実際－求められる「看護」の役割とカリキュラム課題の明確化－

11.3.2 管理者経営研修

- 1) 目的：地域包括ケア時代における看護管理者の役割を果たすうえでの知識を修得し、自らの行動を明確にする。
- 2) 開催時期：令和元年9月6日～9月27日の4日間
- 3) 受講者：34名（看護師長以上の職位にある者）
- 4) 内容：講義と演習において自施設の振り返りが行え、課題解決の戦略を検討することが受講生にとって満足度が高く、有意義な事業であると捉えていた。また魅力あるテーマ3演題で公開講座を取り入れたことも受講生のニーズに沿ったものとなった。

11.3.3 専門的看護実践力研修

「分野別実践看護師養成研修：皮膚・排泄ケア研修」

- 1) 目的：皮膚・排泄ケア看護に関する専門的知識、技術を身に付け、看護実践力の向上を図る。
- 2) 開催時期：令和元年8月31日、9月14日・15日・21日・29日の計5日間
- 3) 受講者：石川県内34施設から42名が受講した
- 4) 内容：ストーマ・創傷・失禁 ケアの3分野に関し講義と演習の方法で実施した。

11.4 感染管理認定看護師フォローアップ研修

- 1) 目的：認定看護師更新審査における審査準備の実際を学び更新審査の備えができる。また、感染管理認定看護師として兼任から専従への転機について考え、今後の活動につなげていくことができる。
- 2) 開催時期：令和元年10月5日

- 3) 受講者：50名
- 4) 内容：第1部（講演）認定看護師更新審査の手順・手続きについて
第2部（シンポジウム）感染管理認定看護師の活動 ～兼任から専従への転機～

11.5 認知症看護認定看護師フォローアップ研修

- 1) 目的：認知症看護認定看護師としての活動状況や事例内容を共有し、学びを深めるとともに新しい知見と情報交換を行い今後の活動に活かすことができる。
- 2) 開催時期：令和元年10月26日、令和2年2月8日
- 3) 受講者：69名
- 4) 内容：令和元年10月26日：第1部実践報告会，第2部（講演）認定更新審査のアドバイス
令和2年2月8日：（講演）認知症高齢者の意向を尊重した意思決定支援